

# 教育通信

26年度 第5号  
通巻1827号

発行所：  
高知県教職員組合  
〒780-0850  
高知市丸ノ内2-1-10  
TEL088-822-4135  
FAX088-823-2355

全教職員  
配布  
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



点や学校現場の悩み  
(代替未配置等)を  
学び合い、署名をす  
すめる決意を固め合  
いました。

また、その後、ひ  
ろめ市場前に移動し、

街頭署名を実施(写真・すぐ上)。短時間の署名行動ではありましたが、41筆を集めています。

これから、県下各地で署名を推進していきます。ぜひご協力下さい。なお、今回、教育通信と一緒に署名用紙を同送しています。返信用封筒も同送していますので、少しでも署名ができましたら、ご返送頂ければと思います。よろしくお願いたします。



名が参加。署名の内容と今年の署名の焦

## 今年度の教育署名の主な項目

### ★県議会向け

- ・ 正規専任の教職員増
- ・ すべての学年を30人以下学級へ
- ・ 特別支援学級定数(8人)の引き下げ

### ★国会向け

- ・ 教育予算をOECD並みへ引き上げ
- ・ 保護者負担の軽減・教育無償化推進

## 今だからこそ、魅力ある職場へ 教育予算増と教職員定数改善を！

ゆきとどいた教育を求める署名  
今年もスタート！

「すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名」(以下、教育署名)は、スタートしてから37年。この年を積み重ね、累計4億8400万筆を集めています。教育予算の増額を求める中で、少人数学級の実現や、私学助成の充実、教室へのエアコン設置など、様々な前進を作り出してきました。26年度には、給食費無償化を全国で前進させていきます。

OECD加盟国(経済協力開発機構)38カ国の「教育予算公財政支出・対GDP比」の平均は、3.96%。日本は、最下位



今年も、26年12月の県議会請願や27年2月の国会請願に向けて、7月20日にスタート集会(写真)を行い、高知県の教育署名に取り組み始めました。集会には、約30

## お城下

7月26日まで「平和七夕まつり」が高知市京町商店街で行われた。平和への願いを込めた折り鶴を飾る催しである。

今年も県内8つの学校が参加した▼折り鶴の起源は広島県の被爆くを生き延びた佐々木禎子さん。「千羽折れば、原爆症が治る」と信じて、毎日飲む薬の包装紙で願いを込めて鶴を折り始めたという。広島・平和公園の一角には、その禎子さんの象もあり、全国から千羽鶴が届けられている▼平和のシンボルは他にもいろいろ。オリーブ、Vサイン、鳩、オリーブの枝、レインボーフラッグ等々▼その中のピースマーク(☒)の起源はイギリスのグラフィックデザイナー、ジェラルド・ホルトン氏が1958年の核軍縮行進のために考案。現在では平和と抗議運動の象徴に▼8月、自分にとっての平和のシンボル(自分で考案?)を身につけ、みんなで平和を願う行動を起こしましょう！(し)

※ 第2次審査の面接資料とするものです。期日までに必ず提出してください。  
※ 手書きの場合は黒色で濃く記入してください。  
※ 記入は各項目8行以内でまとめてください。(入力の場合はフォントサイズを11とします)

職種ごとに分かれて模擬面接を行いました。面接官は、その校種・職種の組合員が勤めました。なお、

**採用審査、頑張つて！**  
7月18日に模擬面接練習を実施！

かかれていまして、その組合員。なお、都合により別日程を希望された方は3名には、その方が参加可能な日程で実施しました。参加者の中には、講師として勤務されている方や県外から参加した方もおり、模擬面接を通

して組合員とのつながりを深める機会となりました。

模擬面接終了後は、青年部を中心に模擬授業に向けた相談会を実施しました。受講者からは、「質問を想定することができた」「質問に答えてもらい、もやもやしていたことが解決できた」「本番まで練習を頑張ります」といった感想が寄せられました。

一方で、講師として勤務する参加者からは、「講師をしながら採用審査を受審しているが、日程的に非常に厳しい（特に来年度の一次審査。＊詳しくは、下記の囲み記事を参照）」、「講師としての経験は採用審査に反映されないのか」といった切実な声も聞かれました。こうした要望については、県教委に対して引き続き要求して

いく必要があります。

また、毎年実施している模擬面接ですが、今年は受講者が県教委へ提出する「自己評価書」に、「児童生徒に対する性暴力・ハラスメント等を含む教員の不適切行為を未然に防ぐために、あなた個人として日頃から心掛けていることや実践したいこと、また学校としてどのような対策や対応が必要だと考えるか」という新たな項目が設けられました（上の囲み参照）。そのため、この内容に関する質問が面接で出されることも予想されました。県内で教員による不適切な事案が相次いで報道されていることは事実ですが、「自己評価書」の中でこの内容について記述を求めることには違和感を覚えます。ましてや「学校として」の対策を受審者に答えさせる必要があるのでしょうか。

臨時教員（講師）の正規採用への願いに應えるために始まつ

た本講座は、受講者の声や願いを丁寧に受け止める場であるとともに、採用審査

の課題を把握し、その改善につなげていく大切なとりくみでもあります。今後

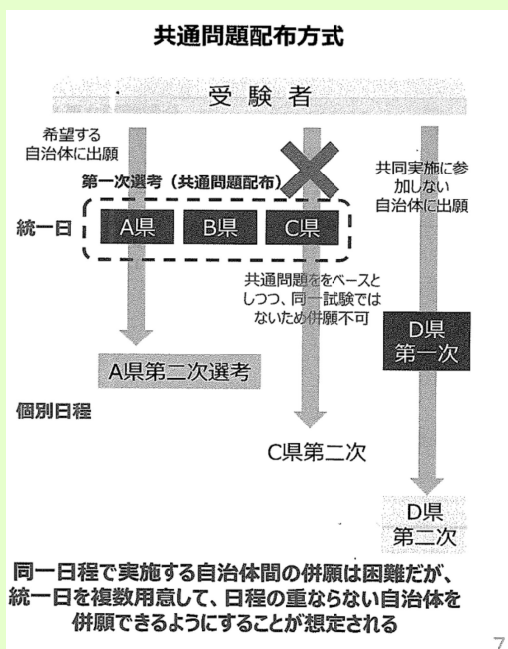
継続して実施し、現場の声を県教委へ届けていくことが求められています。

(＊下図は、文科省資料より)

②これらの日程では、文科省が問題を作り、「共通問題」として、参加する教育委員会に配付。

④自治体独自の二次審査を実施して、採用の可否を決定

高知県は、5／8（土）の日程で参加することをすでに表明しています。高知県独自日程で行っていた今年度までと比べると、受審者減が懸念されます。



# 学びでリフレッシュ！ 第50回教育講座実施

7月25日(土)、

第50回教育講座(午前・記念講演、午後・教科別の8分科会)が県民文化ホールを中心に開かれました。

## ①記念講演

記念講演の講師は渡辺雅之さん(大東文化大学文学部教育学科特任教授、写真左)。演題は、「平和と人権を学ぶ教室に子どもたちと共に」です。約80人の参加者が渡辺先



生のお話に耳を傾けました。

渡辺さんのお話は泣き叫ぶ子どもたちの映像から始まりま

した。イスラエルによるガザ侵攻、アメリカ軍によるイラン女小学校への襲撃、何の罪もない子どもたちや民間人が被害を受けている世界の現実を改めて感じました。また、日本の10代の若者の死亡原因の第一位が「自殺」であるという事実、その背景に「いじめ」があること、ネット社会が広がったために学校のなかではなく24時間のつながることができなくなったことなどが語られました。さらに、在日外国人に

対するヘイトスピーチの問題、その原因が多くのデマと制度的差別・文化的差別にあることを教えてもらいました。

続いてワークセッション。赤・青・黄の3色のカードを参加者が持ち、挙げられた事例を「問題ありそう」「青、迷うところ」「黄」のカードで判定しました。何間か事例をこなししていくうちに、こちらがほめていくつもりで発した言葉が取り方によつては問題ありになるということに気づくことができました。

という事です。自分の中にあるリテラシーをみがくことが大切だと学びました。最後に、「差別やいじめはなくせるか?」という命題に対し、「私たちは微力だが無力ではない!」「少なくとも、私たちの世界は、差別をなくそうする方向に動いている!」というメッセージでお話を終えられました。

参加者一同、これからの世の中を少しでも良い方向に変えていくために何をしたらよいのか、何ができるのかを考えさせられた記念講演でした。

## ②分科会

午後は、国語教育、社会科教育、算数・数学教育、理科教育、美術教育、生活指導、障害児教育、平和学習教育の8つの分科会(それぞれ、その分野の民間教育サークルが中心で運営)に分かれて、学び合いました。

実践例や発問の工夫など「明日」から使える授業実践のヒントを学んだり、教材研究の一つとして高知の実際(地質や城跡など)を学んだり、参加者が楽しみながらこれからの授業の改善を見据えて、学びを深めました。

今回で、教育講座は50回を数えます。初回は1976年、その時の参加者は2500人を超えたとの記録があります。それから、毎年開催され続けているという事は、民間教育サークルの努力もありですが、「新たな

おうちの共済に  
あなたも入りませんか。  
掛け金は安くて、  
給付は充実。  
今回、チラシを  
同送しています。



教職員のための自動車保険は

**全教自動車保険**



教職員と家族を守って36年

WEBでかんたん  
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を⇒

な学び」を求める教職員のニーズも続いているという事です。次年度も、内容を工夫しながら「自主的な、楽しい学び」

を提供できる講座を続けていきたいと思

(講座実行委員会)

高知県内にある道の駅巡り ⑤

|    |   |   |    |   |    |
|----|---|---|----|---|----|
| 1  | 2 | 3 | 4  | 5 | 6  |
| 7  |   |   |    |   |    |
| 8  |   |   |    | 9 |    |
| 10 |   |   | 11 |   |    |
| 12 |   |   |    |   | 13 |
| 14 |   |   | 15 |   |    |

【タテのカギ】

1. 火事を発見するための櫓。今もあるけど、最近はこちらで見られることはまれらしい。

2. 新聞・ラジオ・テレビなど、大衆伝達の手段・媒体

3. 「はだか」、漢語的に言うところ？

4. 共通動詞、手紙を〇〇・目を〇〇・えさを〇〇

5. 〇〇〇〇入りの頑固者

6. 南アメリカ大陸にある〇〇〇高地。テーブルマウンテ

ンが多数。エンジェ  
ルホールも有名。

11. 江戸時代、キリシタンを探すために行われた〇〇〇

13. もうまもなくの〇〇刈りまでの間に台風など自然災害は来ないでね。

【ヒトのカギ】

1. ヒマラヤ地方原産の常緑高木。マツ科。

7. 郷愁

8. 夜が明けきらないう時間帯

9. くつつきワードひ〇〇、し〇〇い、〇〇りたてる

言い方。語源は、動詞終止形の活用語尾「る」+終助詞「わ」の変化。「そんな大声出さんでも聞こえ〇〇」。でも、高市首相にはどんな大声出しでも、国民の声は聞こえていない！

15. ラン科の多年草。かぎを解いて二重枠に入る3文字で、高知県内にある「道の駅」の名前を作ってください（解答に「道の駅」とつける必要はありません）。

①解答②郵便番号・

10. 標準語では「です」。関西では「すよ」。

「残りあと一個〇〇。早い者勝ち〇〇！」

11. サザエ、カツオ、ワカメの母

12. お猪口よりも大きな杯

14. 「くるよ」のぞんざいな

住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は9月30日(水)。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただくことがあります。

【6月1日の当選者】

「土佐さめうら」(土佐町)でした。抽選の結果、次の3名の方が当選されました。おめでとうございます。

もちもちハリネズミさん(日高特支) まっくろくろすけさん(窪川小) 赤穂浪士の末裔さん(布師田小)

【みなさんの声より】

○最近、クロスワード部を発足して、休憩時間にみんなで解いて、老若男女混ざって楽しんでます。教育通信はいつも有益な情報を迅速に出してもらえますので、助かっています。ありがとうございます。

○子どもたちは休み時間になると外に出て元気に遊んでいて子どもはすごいなあと思う毎日です。子どもたちにパワーを貰いながらこの夏を乗り切ろう！

○臨時で配属されて2ヶ月が経とうとしています。最初は私に対して警戒(?)していた子供達も最近では「先生！ー」とたくさん声をかけてくれるようになり嬉しい気持ちです。

○最近、令和の授業教育DXの授業を見に行きました。タブレットの使い方や正しい情報の選び方など、これからの社会で生きていく上で必要な技能を子どもたちにつけさせるための教育がどんどん進んでいて感心しました。自分の担当する授業でも、頑張っていきたいと思えました。

○ほぼ1年ぶりに現場に戻ると早くも浦島太郎感。働き方改革が進んでいるのだからうけれど現場はますます大変そう…。

○4月に転任し、やっとな新しい職場にも慣れてきました。学校ごとにいろんな文化があつて、驚くこともありますが、この歳になっても新しいことに出会えるって良いなど、前向きに捉えて頑張っています。夏休みまであとちょっと。みなさん頑張りましょう！

○やっと1学期が終わりでした。けれども来週は補習に補習、校内研にと忙しい！

○慌しかった1学期が終わり夏休みに。とはいえ研修だ出張だと忙しいに変わらないうですが、ゆっくりリフレッシュしたいです。

○3年生は終わると受験体制になる県体。一回戦で敗退した者も。やり切った選手はサバサバしている。が、「もう一少し強くならせなかった…」と心残り。

○昨年度に続き、学期末のひと月余り、アメリカからの体験入学生姉妹を受け入れました。主に6年教室での活動でした

が、2度目というところで、昨年度に比べて2人の表情は柔らかく、休み時間などには弾ける笑顔で他学年とも打ち解けて過ごす様子もうかがえました。姉妹とお別れの日が近づいた学期末、担任のクラスでは、同じく学期末でお別れとなるALTの先生との思い出作りも兼ねたお楽しみ会を計画し、皆で楽しい時間を過ごしました。話し合いの末、子ども達が用意したのはドッチボールとバナナ鬼に椅子取りゲーム。担当のグループごとに準備を進め、迎えた当日は、言葉の壁も関係なく終始盛り上がり、あちらこちらで温かい交流が生まれ、微笑ましかったです。子ども達の目当てはバッチリ達成！文字通り、思い出深い一コマとなりました。

メールはこちら

